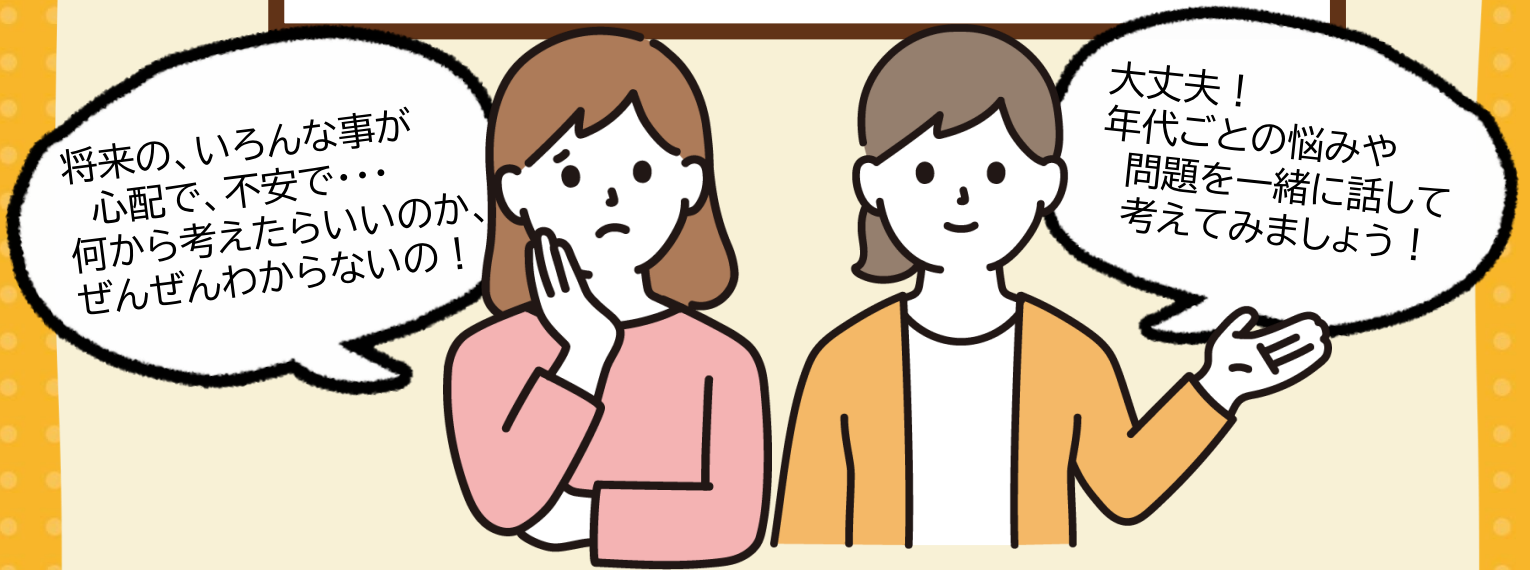


松の木プロジェクト 合い言葉は「親から地域社会へのバトンタッチ」



“まっちゃん”の社会自立をめざす ～ 対話篇 ～

この数年間、私たちは、成人した子どもが地域で安心して生きていけるよう、「親から地域社会へのバトンタッチ」を合い言葉に、勉強会を重ねてきました。

そこで、子育ての目標は「子どもの社会自立」であること、そして、さまざまな年代において、親も子も多くの壁にぶつかることがわかりました。

私たちは、次に続く親たちに、自分たちがこれまで出会い、悩んだ経験を集めて、「事例集」を作りました。

年代ごとに出会いがちな課題に向き合い、一人で悩まず、仲間とともに考える「対話方式」のガイドブックです。

このパンフレットでは、ガイドブックの目次(内容)をご紹介します。

知っておきたい、
考えたい、始めたい

「親なき後」はみんなの共通課題！
仲間と一緒に、「本人の社会自立」の
ために準備できること、やっておくことを
考えよう！始めよう！

“まっちゃん”って誰？

「松の木」、特に玄関先にある「門かぶりの松」は、
大事に育てられ、しっかりとした家の
象徴です。私たちは、松の木を親子に例え、
「松の木プロジェクト」と名付けて勉強会を
すすめてきました。

“まっちゃん”は地域で自立して生きていく、
「子どもの松」です。



ガイドブックの内容は次のとおり・・・

先輩たちが出会い、悩み、乗り越えてきた事例がいっぱい。
年代毎にぶつかる課題を、仲間と一緒に話し、考えてみませんか？

**A. 成人前に
考えておくこと、やっておくこと**
・・・子育ての目標は、子の「社会自立」

事例キーワード

- ①外出／移動の安全・マナー
- ②本人確認が厳格になる通帳が
つくりにくくなった
- ③障害基礎年金の取得
- ④扶養共済制度
- ⑤本人の意思が大事



**B. 成人後、
20歳代で始めたいこと**

・・・社会自立には、毎日の「生活と心の安定」

事例キーワード

- ①社会自立への準備を始めよう
- ②お金の管理と生活習慣
- ③心の安定で親元から新たな一歩
- ④親離れより子離れが問題
- ⑤スマホやネットは便利だが

C. 30歳代にやっておきたいこと

・・・「親離れ・子離れ」の準備は
「記録から」

事例キーワード

- ①将来は入所施設か？
- ②自立の時期は？
- ③親の管理の引継ぎ
- ④自主的な行動を促すエンパワメント
- ⑤きょうだいを上手に育てよう



**D. 40歳代は、
親なき後を考えよう**

・・・「後見」と「遺言」で、親も子も安心

事例キーワード

- ①後見も遺言も、自分で期限を考えよう
- ②後見人は次世代、きょうだい？
- ③父母・家族で考え、話し合おう
- ④日常生活自立支援事業は役立つ
- ⑤自立にはプロセスが大事



**E. 50歳代は、
共依存に注意**

・・・「相談支援」とつながり、危機への準備を

事例キーワード

- ①体感治安の悪化
- ②親族も第三者も、
後見人との信頼関係が大事
- ③障害者の老化も心配
- ④もう何も決められない
- ⑤一人暮らしを目指し



F. 思い立ったら始めよう

・・・親も子も、仲間が大事、地域が大事

事例キーワード

- ①仲間の存在が大事
- ②本人部会の継続を
- ③地域と、民生委員さんとつながろう
- ④社会自立とは？
- ⑤思い立ったが吉日



このガイドブックには、一般的な情報ではなく、仲間たちと親の視点から考えた結果が載っています。私たちは多くの情報があっても、納得ができないと行動には移せません。大事なのはひとりて分かったつもりより、仲間とともに考える方が「納得」につながるということです。このガイドブックは誰もが使えるものです。ガイドブックを有効に活用し、本人の自立と、親子の安心につながっていくよう、一緒に取り組んでいきましょう！